

地区とのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和6年2月9日（金）午後7時30分～午後8時30分
地 区	星田西地区
場 所	星田西3丁目集会所
参加人数	7人

テーマ1 地域の安全、安心対策について

主 旨（区長）

- 交野市は犯罪が少なく、特に星田西は安全性が高いが、不審者に子どもが後をつけられたという事例があり事前に防ぐことが重要である。
- 別紙にこの地域の防犯カメラの設置場所を掲載した。
赤の丸印が、自治会で設置しているカメラである。フレスコの東のバス通り、平和台霊園に向かうアステージの角、下のメイン道路のアステージの角の3か所である。この地域に車両が入る場合はこの3か所を押さえておけば問題ないと思う。
青の丸印は交野市が設置しているカメラで防災行政無線の箇所と、南公園の中の2か所である。
- 広い地域であるため、もう少し防犯カメラを設置してもらえると安全性が高まる。特に平和台霊園に向かう学童の通学路の大谷新池の向かいの竹やぶは、カーブもあり見通しも悪い。去年は不法投棄も多く、交野市の環境部に撤去をお願いした。

市 長

- 防犯カメラについては、市内120か所に設置しており、小学校区、中学校区の観点で設置を行った。通学路と思われる箇所に加えて規模の大きい公園の観点からも設置してきた。
- コモンシティの公園については規模が大きいことからカメラを1か所設置した。
- 市長就任後に交野警察と協議を行い、街頭犯罪の抑止のため特に交通量の多い交差点等に市として防犯カメラを20か所追加で設置した。
- 今後のカメラの設置については、本市は犯罪の発生件数は大阪府下でもかなり少ない方であり慎重に進めていくが、不足している箇所は危機管理室の補助制度を利用し、地区での設置になると考える。
- 防犯カメラは基本リース契約であり更改時期に増設を検討していきたい。

意 見

- コモンシティの出入り口に3か所あり、車で逃げるとすぐに分かるため十分ではないか。あまり設置しすぎると監視されているみたいである。
→ [市長] 資料には掲載がないが、旭小学校の通学路では3か所、三中の通学路では2か所設置されている。
- 赤丸の下の矢印の右の防犯カメラが故障し来月修理を行う。市販のカメラで補助金を15万円いただくが、交換するだけで60万円発生し、ポール等の修理も含めると100万円発生する。15

万円の補助金を増額してもらえないか。

→〔市長〕防犯カメラと言ってもピンからキリまである。私は家に3か所設置しているが、3つ合わせて1万円である。この地区は恐らく一番高い仕様をつけており電信柱に設置すればカメラだけで済む。補助額増額というよりは、安く良いカメラを使用する等の対応をお願いしたい。

- 交野警察が出来てから街中でもパトカーを見る機会も増え安全性が高まった。
→〔市長〕交野警察が平成23年に開署し、結果、交野市内の警察の数は100人増員となり安全性は高まった。
- 先ほど、区長より竹林のところに防犯カメラの設置について要望していた件で、朝など大谷新池のあたりに見守りの方が立っており大変感謝しているが、やはり限られた時間となり、1～6年生全てをカバーすることは困難である。トラックも多いため危険である。すぐには難しいと思うが、数年間でカメラを増設してもらえることを強く要望する。
→〔市長〕旭小学校からの帰宅路の竹やぶ周辺は地区計画で開発が決定しているが、事業者の事情もあり変更の手続きを行っている。特に三叉路になっている周辺では30～40件の宅地が建設予定であり安全性が高まる。通学路は本年度から市の予算で、シルバー人材センターに見守りをお願いしている。令和7年度には各小学校区で2か所に増やす予定。
- 三叉路とはどこのあたりか。平和台霊園の駐車場のあたりか。
→〔市長〕その付近である。三叉路の方の、寝屋川で一戸建て住宅約200平米程度の家が20数件、三叉路よりも東側には確定ではないが集合住宅になっており、計画変更で一戸建てになる予定である。一部は星田6丁目にまたがっているが校区としては旭小学校である。
- 自治会はどこに入るのか。
→〔市長〕不明であるが、自治会は組織していただかなければならない。
- 星田西も含めて大きな土地があれば駐車場ばかりになるが行政は知っているのか。大型トラックが50台くらい停まっている。
→〔市長〕第二京阪道路開通以降、交野市では特に物流倉庫が多くなり、その業者が土地を取得もしくは借りている。調整区域のため家は建築出来ないが駐車場は問題ない。土地利用を考慮するとやはり資材置き場か駐車場になる。
- 平和台通りに行く両側が駐車場になった。特に右側は通学路であるが、大型トラックの駐車場になっている。子どもがバラバラで帰ることもあり危険である。接触事故防止の要望をしたところ、結果として敷地内にカーブミラーを設置することで落ち着いた。市街化調整区域を駐車場に使用する場合許可制にした方がよい。農地転用の許可を農政課が行っている。
→〔市長〕農地を農地以外で利用する場合は農地転用が必要であるが、駐車場は建築物でないため自由である。許可制にする等は、財産権を侵害することになるため困難である。

テーマ2 地域の環境整備に資する施策について

主旨（区長）

- コモンシティ星田は良好な環境で作られた街であり緑も多い。道路もインターロッキングブロックで作られており高価な材料で景観に配慮しているが、年数が経ち木は非常に大きくなり、道路も傷んできている。住民も環境整備に努力しているが、高齢化になり厳しくなっている。

- 昨年、市に樹木の剪定を要望し先月から徐々に剪定いただいている。
- 我々もボランティアとして尽力はするが手が回らない状況もあり、財政的な部分もあると思うが、行政も整備等手を貸してほしい。

市長

- 街路樹については、地区で要望をまとめて提出いただければ剪定は行う。星田西地区はなかなか行政では手が出せない部分もあり、過去に相談を受けたが、かなり高所にあるためシルバー人材センターでも手が出せない場所の木は、業者と話あいながら進めていく。
- 道路については、特に幹線道路は路面正常調査を行い、近年はバス通りの舗装工事とセンターラインの消えていた箇所を整備した。その他の街区道路の舗装については、家の建て替え、水道、ガスの更新に合わせて舗装が更新されることもあり対応は困難。特にこの地域は、独特な舗装の仕方もあり対応に苦慮している。他の地区との公平性を考慮するといずれはアスファルトになる可能性もある。

意見

- インターロッキングは昨年の予算で直してもらったが、一部はガタついたまま据え置きになっている。区長から市に対して強く要望したいと思っている。
- 一昨日も道路河川課に相談したが、一枚ずつ直すのは困難で、ある程度まとまった枚数で発注をかけると言われた。現在、凸凹しているところについては危険なため仮舗装などで直してもらい、ある程度まとまればインターロッキングにしてもらいたい。アスファルトにするのではなく、インターロッキングは維持してほしい。
→〔市長〕他の地区と補修予算に差はつけられない。駅前のタイル式等であれば、皆さんが使用するため直すことになるが、特定の地区の固有の状況であり困難な部分もある。
- 今月の13日からバス通りの街路樹の剪定にはいると聞いた。地域で出来ることも限られているため、今後も配慮をお願いしたい。
→〔市長〕木も尽力すれば植え替えを出来なくはないが、木を抜くとなると苦情も出てきて、費用も発生するため対応に苦慮している。
- 既に街路樹が植えてあるところに引っ越してきた方は苦情を言わないでほしい。
→〔市長〕法律の話をするとうるまじ関係ない。意見が出ると聞く必要がある。

その他

- 平和台霊園の信号のある道と一つ手前の三叉路の道が、大きなトラックが通るようになり、道がとても荒れているが、市の財政でどうにかならないのか。
→〔市長〕道路に関しては5年に一度、路面正常調査を行い、市内の幹線道路については調査している。本市では4,000万円程度の路面修繕費を予算計上し、その範囲で計画的に修繕している。ご指摘のとおり、物流倉庫の整備が進んでおり、舗装の痛みは事実としてある。駐車場は税金はあまり徴収できないが、道路が痛み修理代が発生することは事実である。
- 道路のセンターラインの管轄は市になるのか。

→〔市長〕道路の管理者になるため、市の管轄であれば市であり、府の管轄であれば府になる。横断歩道と一旦停止は警察である。

- 平和台霊園の三叉路の黄色のセンターラインが消えており警察に相談に行った。
→〔市長〕基本的には警察が管轄するのは、横断歩道等である。警察は、年度で要望をまとめて警察本部に上げ、許可が下りれば一括発注する。本市としては道路だけ予算を上げることは困難である。
- 広報で令和4年度の決算を見たが、決算の方が予算よりも歳入、歳出ともに金額が多かった。お金がないと言わずに修繕等をお願いしたい。
→〔市長〕民間企業と予算の作り方が異なる。税金は少なめに見積り歳出は多く見積もるため、結果として金額が異なる。
- 小中統一校について、建設する面積と除却する面積を同じにしなければならないとあるが、学校を建設すると決まった時に起債の条件は分かっていたのではないか。
→〔市長〕当時の教育委員会で、公共施設等適正管理推進事業債を使用すると決めた段階では条件の認識はなかった。市長に就任後、やはり潰さないとならなければならないとなり、費用が発生するためどうすべきかというのが現在の話である。
- 学校を潰すのにもかなりの費用が発生するのではないか。
→〔市長〕一つの学校を潰すためには5億円必要である。1個半を潰すと6～7億円程度になる。防災施設や防災公園にすることで7割国の補助が受けられ、旭小学校隣の給食センターの跡地には防災倉庫を建設する。
- 他市では廃校した箇所に、民間企業がビールの工場や養殖場として活用している事例があるが交野市ではできないか。
→〔市長〕今回、公共施設等適正管理推進事業債を使用しているため、建設した16,000平米分をまず潰さなければならないことが、後に市民に知らされた。市としては補助金31億円が関わっており建物は潰すことになったが、みらい小学校については半分残すことができるためその活用を検討する。
- 防災行政無線については、一斉に流す以外に方法はないのか。
→〔市長〕原則はそうであるが、聞こえないなど評判が悪いため、来年度設計の予算を計上している。
- 星田北地区の区画整理で、保留地は道路も非常に広く歩道も整備されているが、駅から西側の駐車場となっているところは歩道が整備されていない。市が補助金を出しているが、何故指導しなかったのか。
→〔市長〕当該箇所は寝屋川市域ではないか。